

砺波市民の歌

作詞 大島文雄
作曲 宮下舜爾

Allegro

しょうがわの ひがしににしに
となみのの さんきよのみどり
やまのべの すぎのこだちが

ちをしめて しせいゆたかに
ゆすのさど はるはかがやく
あざやかに かぜもゆかし

のびてゆく あかるいあさの あいさつを
チューリップと せいさんのあせ すこやかに
よよのあと せいきはまちに のにやまに

かわせばきょうの しあわせが われらしみの
はたらくきょうの よろこびが われらしみの
さかえるあすの さちをよぶ われらしみの

うえにある
むねにわく
となみし

だ

poco rit.

砺波市民の歌

庄川の
東に西に
市勢ゆたかに
明るく朝の
かわせば今日の
われら市民の

砺波野の
散居の緑
春はかがやく
生産の汗
はたらく今日の
われら市民の

山の辺の
杉の木立ちが
風もゆかしい
生気は町に
さかえる明日の
われら市民の

おみやがた
世々のあと
野に山に
幸をよび
砺波市だ

ゆすの里
チューリップ
すこやかに
よるこびが
胸にわく

地を占めて
のびてゆく
挨拶を
しあわせが
上にある